

# きょうこう

教育情報誌

vol. 55

2026年4月

## 巻頭インタビュー

●料理愛好家・シャンソン歌手

# 平野 レミ



## キッチンから 幸せ発信!!

## 特集

### 令和7年度 第31回 日教弘教育賞

#### 心に残る子どもたち

三重県立四日市農芸高等学校 教諭

福永 敦史

佐賀県唐津市立第五中学校 校長

嬉野 雅也

#### 教職員の健康を応援 第3回

#### 職場でできる簡単ストレッチ

#### My Second Life (vol.25)

すべての子どもたちを、食で笑顔に!

梶 正人

#### わたしたちの学校自慢

●専門高校シリーズ (vol.20)

香川県立坂出商業高等学校

会計ビジネスコース

#### 表紙紹介

香川県立高松高等学校



# わたしらしく

— 巻頭インタビュー —

●料理愛好家・シャンソン歌手

## 平野 レミ

### 自由にのびのびと

学校から帰ると、ランドセルを玄関に放り投げて、野山に飛び出していきような子どもでした。両親も「あれをしちゃだめ、これをしちゃだめ」なんて全く言わなくて、いつも「元気だね」「楽しいね」「よい子だね」って褒めてくれた。「意地悪だけはしてはいけないよ」、それだけ。ハーフの父親が、日本人と外見が違くと差別にあったからでしょう。意地悪だけはしてはいけないって。それ以外は何にも言わない両親だったから、ほんとに自由に育ったわね。キッチンに散らかしても、「あら、レミちゃん、今日はまた派手にやったわね」とニコニコ笑うような母親でした。

### 学校をやめたい

野山を駆け回って育った私が、何の間違いか都立の進学校に合格したの。教室の窓からは東京大学が見えていて、先生があそこを目指しなさいと大学を指さして、クラスメイトも勉強にひたすら励むという毎日が苦痛でならなかった。

高校2年生の英語の授業で先生に名前を呼ばれて、アンチョコを見ながら和訳したら、15行読んだあたりで「平野、1ページ飛ばしているぞ」と指摘され、我慢ならず教室を飛び出した。「先生さようなら、皆さんさようなら」って言って。それから1週間だったか10日間だったか、学校に行くふりをして家を出て、公園でぶらぶらしたりして過ごしたんだけど、このままじゃいけないと母に打ち明けました。「お父さんに自分の口から言いなさい」と言われ、言い訳をあれこれ考えて父の書斎へ。

Profile

主婦として家庭料理を作り続けた経験を生かし、「料理愛好家」として活躍。“シェフ料理”ではなく、“シェフ料理”をモットーに、テレビ、雑誌などを通じて数々のアイデア料理を発信。また、講演会、エッセイを通じて、明るく元気なライフスタイルを提案するほか、特産物を使った料理で全国の町おこしなどにも参加し、好評を得る。レミパンやジップロンなどのキッチングッズの開発も行う。著書は50冊以上。

ホームページ：remy.jp

キッチンから幸せ発信!!

父はそのとき何か書き物をしていただけで、その背中に向かい、「学校やめたくなくなっちゃった」って言ったの。そしたらすぐ、老眼鏡をはずしてこっちを向き、「やめろ」と静かに一言。そして、「好きなことを精一杯やって、本は読んだほうがいいよ」と。理由を何も聞かなかった。そのときのことを思い出すと、今も涙が出ちゃう。嬉しくて嬉しくて。親が一生懸命自分を応援してくれているということは、何物にも代えがたいものですね。

### 料理と歌

料理の楽しさを知ったのは、小学5年生の頃。お腹がすいて台所にいったら、母もいなくて。トマトとピーマンと茹で上がったうどんがあったの。そこらへんにあった調味料と混ぜて食べてみたら美味しくて。トマトも手で握って潰したわ。台所が汚れても母は笑っているし。それから、時々オリジナル料理を作るようになったの。

料理は食べる人を幸せにすること、今振り返れば子どもの頃から体験していたのだと思う。何かと人が集まる家で、料理で来客をもてなす母を手伝っていて、美味しい美味しいって食べてくれる姿を見るのは子どもながらに嬉しかったし、作ることも食べることも大好きな家族だったから。父は、戦争で孤児になったハーフの子どもや、いろいろな国籍の子どもたちの支援をしていて、いつもみんなと一緒にご飯を食べていたことも大きかったかもしれない。



おっとりとした料理上手の母・清子さんに抱かれて



父(詩人でフランス文学者の平野威馬雄氏。昆虫学者ファーブルに関する本の翻訳や南方熊楠の評伝、UFOやお化けの話など多くの本を出版した。1986年、86歳で死去)と



2025年、コンサートでシャンソンを歌う



最愛の家族。夫の和田誠氏と長男の唱さん(右下)と率さん(左下)

フランス文学者だった父の影響でシャンソンが好きになり、本格的に歌を習いに通っている間に、オーディションに合格して銀座で歌い始めたの。銀座からも声がかかって、ドレスの裾をまくり上げてピンヒールを履き、譜面を持って銀座通りを行ったり来たり。映画みたいでしょ。父から言われた「本を読みなさい」はできなかったけれど、好きな歌は精一杯やった。子育てが一段落した頃にまた歌い始めて、今もシャンソン歌手として現役よ。「好きなことを精一杯やりなさい」という言葉と、結婚するときに「レミから歌をとりあげないでやってくれ」と父が夫に言ってくれた言葉が、今もわたしを支えてくれている。

### ベロ繋がり

時々、知らない人から声をかけられるの。「あのレシピは美味しかったよ」「牛トマ、母が作ってます」とかとか。料理が人を繋ぐのね。それを「ベロ繋がり」って呼んでます。夫(イラストレーターの和田誠氏・2019年没)ともベロが合ったのね。外食する度に「レミのご飯のほうが美味しい」と言ってくれました。「あと何回、レミのご飯が食べられるのかなあ」っていうから、数えてみたら思ったより少ないの。一回一回の料理を大切にしろって思った。子育てで忙しかったときも、主婦として一生懸命工夫をしたわ。合理的で楽しい料理というのかな。だから私の料理は、「シェフ料理」。料理研究家ではなくて、料理愛好家なの。

2人の息子は結婚しそれぞれ家庭をもっているけど、料理は自然と受け継がれていくのね。時々ご飯に呼んでくれるんだけど、同じ味でびっくりしちゃう。2人とも宿題はキッチンでやらせて、包丁の音や料理の匂いを嗅いで育てたのよね。

手を抜かないといっても、コンビニエンスストアへおでんを買いに走ることもありました。ただね、汁は申し訳ないけど捨てて、出汁だけは我が家の味にしたの。レトルトカレーを使うときもジャガイモや人参、肉をプラスしたり、スパイスを加えとか。そうしないと、「おふくろの味」がこの世からなくなって、どこの家も同じ「袋の味」になっちゃうから。

### キッチンから幸せ発信

人間にとって、食べるのが根本だと思うの。今日食べたものが、三か月後に血となり肉となる。一人暮らしも共働き家庭も、男も女も関係なく人は食べるし、食べないと生きられない。どうせ食べるなら、お腹を満たすだけの食事ではなく、ちょっとだけ工夫してみたいの。その工夫が自分や家庭の味になって誰かを幸せにするし、その幸せは平和に繋がっていくと私は信じてる。忙しいときは、週に1回でいいから料理をしてみてください。そしてあなたに家族があれば、週に1度は一緒に食べてほしい。

料理愛好家としてこれからもキッチンから幸せを発信し続けていきますから、忙しい毎日の中でも、少しだけ料理を楽しんでもらえたらって願っています。



読者の中から抽選で3名様に、平野レミさんの直筆サイン入り新刊・自伝『平野レミ大百花』をプレゼントします。



応募は、はがきに①住所②氏名③電話番号④ご所属の学校名(組織名)⑤本誌の感想をご記入のうえ、以下の宛先までご郵送ください。

■応募宛先：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6 (公財)日本教育公務員弘済会 「きょうこう vol.55 プレゼント」事務局

■締切：2026年7月31日(金)必着

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます

# 令和7年度 第31回 日教弘教育賞

## 最優秀賞の受賞者2名にインタビュー

「日教弘教育賞」は、公益財団法人 日本教育公務員弘済会が行っている事業です。

教育関係者が使命感をもって日々行う教育実践の報告の場として、教育実践研究論文を募集し、学校教育の向上発展に寄与する優れた実践研究を対象に、助成を行っています。今回は最優秀賞2名の受賞論文およびインタビューを紹介します。

### 美術の「読み解く力」を育てる対話型鑑賞の授業づくり

#### — 3年間のスパイラル型カリキュラムによる成長の検証 —

山形県酒田市立第一中学校 教諭 石井 諭

#### 1 はじめに—「なんとなく鑑賞」の壁

現行の中学校学習指導要領「美術科」の鑑賞領域では、作品を「造形的な見方・感じ方」で捉え直し、仲間との対話を通じて解釈を深める学習が求められている。しかし実際の授業では「きれい」「すごい」といった感想にとどまり、根拠と解釈が繋がらないことが多い。これは、授業が教師の一方通行の解説になりがちで、考える道筋の指導や、根拠に基づく説明の仕方を具体的に示していなかったことが主な要因と考える。そのため生徒は「自分の答えは正しいのか」「どのように考えればよいのか」が分からないまま学習を終え、いわば「なんとなく鑑賞」に陥りがちであった。結果として「美術は『才能』や『センス』だ」と片付けられてしまいがちになるという、自分の指導への反省があった。

#### 2 本研究の目的

これらの指導課題を解決するために、本研究では、

次の三点に焦点を当てて検証を行った。

##### (1) スパイラル型カリキュラムによる力の伸長

1年生では「作品を見る視点」を、2年生で「作者の演出を読む視点」を、3年生で「社会と結び付けて考える視点」を段階的に積み上げ、生徒の作品を読み解く力がどのように発達するかを探る。

##### (2) ICT 共有ツールが生む対話の豊かさ

Jamboardで全員の思考を可視化することで、発言機会の広がりや他者視点の取り込み方がどう変わるかを観察。特に「付箋を並べ替える」操作が、対話を次の段階へ押し上げる契機になるかを探る。

##### (3) 授業後の深い解釈の質

ワークシートとふり返り記述を分析し、生徒が作品と社会・自分との関係をどの程度まで言語化できるようになったかを探る。

これらの視点を通して、対話型鑑賞を軸とした授業デザインが「主体的・対話的で深い学び」の実現に

どのように寄与するかを明らかにすることが本研究の目的である。

### 3 理論的な土台

#### (1)対話型鑑賞(VTS)

〈何を感じたか〉→〈どうして／どこから〉→〈ほかの発見・疑問〉の順で対話を進め、教師は言い換えや発言の接続を担う。

#### (2)思考のルーティン

〈観察 - 印象・疑問 - 考察・根拠 - 新たな疑問〉など短い型で考えを整理・言語化する。

#### (3)協働学習×ICT

Jamboardの付箋・色分け・並べ替えで思考を可視化し、因果づけを共同で行う。記録は振り返り・評価に活用する。

## 4 研究方法

#### (1)対象と期間

1～3年各3クラス(計270名)／2023～2025年度

#### (2)授業デザイン(共通の進め方)

①作品との出会い:観察し感想を記す。②個別整理:思考ルーティンに沿って付箋をJamboardに記入。③小グループ対話:口頭共有し付箋を整理。④全体共有:〈主張 - 根拠 - 問い〉で発表し合意点を確認。⑤振り返り:取り入れた他者視点・更新点・次の問いをワークシートに記す。

〈教師の関与〉短い問い返しと進行整理のみ。

〈記録〉Jamboard記録とワークシートを保存する。

〈評価〉〈語彙抽象度／対話過程／作者視点〉の

3つの視点で分類し、学年比較を行った。

## 5 実践報告

### ■<1年生> 受け継がれる美の心～宗達、光琳、抱一が描いた「風神雷神図屏風」

俵屋宗達・尾形光琳・酒井抱一の「風神雷神図屏風」を時代順に比較し、表現の違いを江戸文化の変遷と関連させながら読み解いていく。

#### (1)授業のねらい

三作品を比較し、構図・色彩・視線・雰囲気など造形要素を根拠に解釈を語り、時代背景と関連付けて「なぜこのように描かれたか」を推論する。対話を通して考えを広げ、解釈に至る楽しさを味わう。

#### (2)授業の流れ

##### 《第1部》宗達作品との出会い(1時間)

初発の感想(印象・気づき等)を記し、共有したのち、作者・作品概要・社会的背景などを知る。「風神と雷神は何を見ている?」「宗達は二神をどんな存在として描いたか」を基に対話する。



図1 Jamboard付箋の記入状況(宗達)

##### 《第2部》三作品の比較鑑賞～時代の移り変わり と作者の思いを探る(2時間)

光琳・抱一を加え、宗達との違いをJamboardに記す。視線・表情・雰囲気の変化を議論。教師は「宗達→光琳→抱一」と時代の移り変わりを示す。まとめ

レポートでは三作品の違いと時代背景を関連付け、作者の思いを考察し、他者視点を取り入れた更新点を明記する。



図2 三作品の比較鑑賞から表現の違いを考察

### 《第3部》現代を生きる私の風神雷神図(3時間)

「たらしこみ」や金箔表現を体験し、“今の時代を生きる神の姿”を自由にデザインする。鑑賞会で現代をどう捉え表現に反映したか語り合う。

#### (3) ワークシートの記入状況と質的变化

生徒A(初発感想)「光琳は色が明るいから楽しそうに見える」⇒(最終考察)「光琳は元禄の町人文化が開花した時代に描いた。雷神の表情を柔らかくしたのは〈神への畏怖より娯楽性〉を求める江戸っ子の感覚を映した」

- “楽しい”という主観を、「元禄文化」という歴史的背景で裏付ける記述に発展している。
- 「なぜそう描かれたか」を社会的文脈で推論する文章が複数のワークシートで確認できた。

生徒B(初発感想)「光琳～抱一の雷神はちょっとやさしい顔に。角は段々と白い角になってる。なんで？」⇒(最終考察)「◇◇くんが『昔ほど神さまがこわく見えないね』と言ったので、三つをくらべた。宗達は雷神がこっちをにらみ、こわさMAX。光琳は雷神の目が風神を意識し始

め、角の色が少しうすい。町人は“こわいけどおもしろい!”って見ていたのかも。抱一は二神の顔がほほえんで見える。角も白っぽくなって“こわい神→やさしい神”にかわっていて、時代が平和になるほど神もやさしく描かれているのわかる。」

- 「なんで角が白く？」から作品と時代をつなげる思考が芽生え、こわさ→やさしさという見た目の違いを目線や表情、角色の変化という言葉で筋道立てて説明できている。(造形要素+感情語)
- 「◇◇くんが～と言ったので…」と他者発言を引用し、自分の疑問→比較→結論の一連の流れを構築。批判的ではないが協働的な再解釈を実践している。



図3 ワークシートの記入状況(光琳・抱一)

#### ■ <2年生> 絵の中に入り込んで — ロックウェルの物語を読む

写実的で物語性が強いノーマン・ロックウェルの作品を鑑賞素材とし、画面に仕掛けられた造形的演出(トリミング・視線・距離・構図変更)と作者の意図を結び付けながら読み解くことをめざす。

造形的な根拠に基づく深い作品の味わい方を習得させるステップに位置付く。

### (1) 授業のねらい

トリミングや視線・人物の距離・構想資料と完成作の比較など、ロックウェル作品の造形的演出に注目し、作品のストーリーと作者の意図を結びつけて読む。Jamboardで対話し、謎解きの楽しさを味わいながら物語性と造形性を総合的に読み解く態度を育てる。

### (2) 授業の流れ

#### 《第1部》ロックウェル作品との出会い(1時間)

作者の経歴・時代背景と代表作を知り、ロックウェル作品の普遍性を確認する。

#### 《第2部》作品の読み解き方を知る(3時間)

三つの学習(トリミングの効果/人物の距離と視線/構想資料と完成作の比較)を行い、ワークシートの問いに沿って考察する。Jamboardで考えを共有し、解釈を深める。各学習のまとめとしてストーリーと造形的演出の工夫について、解説文にまとめる。

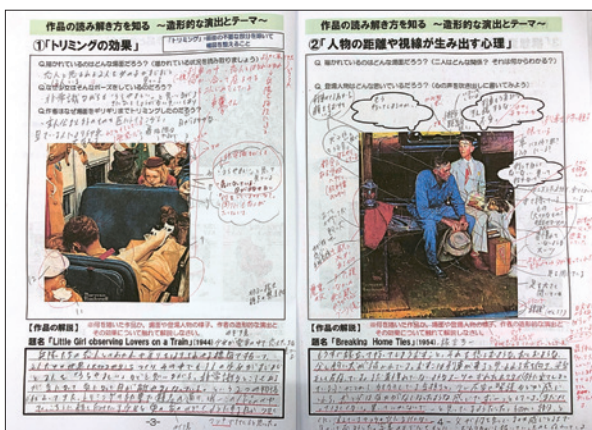


図4 ワークシートの記入状況

#### 《第3部》実践! グループで作品を読み解く(2時間)

課題作品をグループで読み解き、解説発表を経て最終解釈を解説文に書く。



図5 Jamboardで考えを共有しながら進める

#### (3) ワークシートの記入状況と質的变化

グループC 最終解説(抄):画面を引っ越しトラックで大胆に切り取り、観客の視線を中央の子どもたちへ集中させている。(トリミングの効果)

- 二本のコンクリート線が〈白人居住区〉の境界を象徴。兄妹は外側に立ち“まだ越えられない心の様子”を表す。(人物の距離と視線)
- 白人側の黒犬/黒人側の白猫というペット

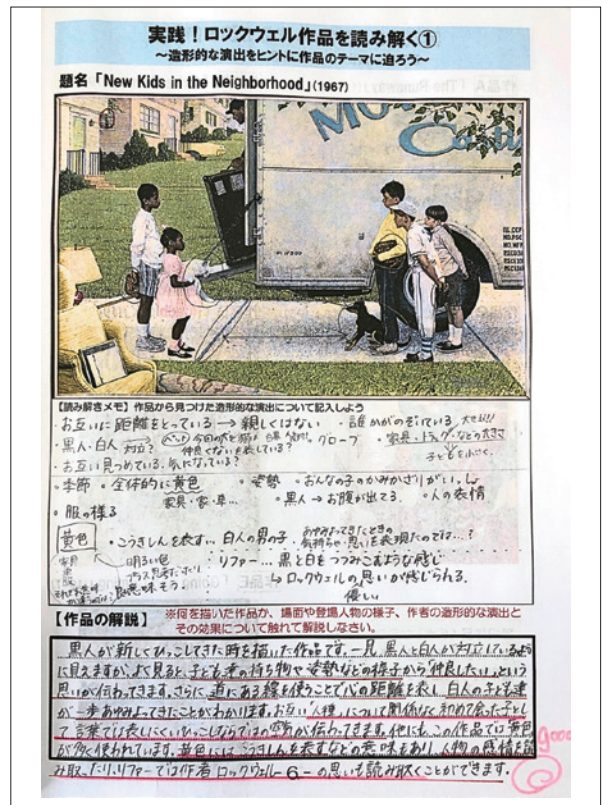


図6 ワークシート:最終解釈を解説文にまとめる

の色対比で「壁を越える希望」を暗示。白・黒を包み込む黄色は「平和・調和」を暗示。一方で黄色・黒は「警戒」を意味し、大人の世界の根深い差別意識を暗示。

- ロックウェルは“無邪気な子ども同士の出会”に、人種差別の緊張と未来への希望を同時に織り込み、観客に「境界を越える一步」を促している。

これらの変化から、造形的根拠と社会的文脈を結びつけた深い読み解きが定着し、対話とJamboardの可視化が批判的思考を大きく促進したことが確認できた。

■ <3年生> 「ゲルニカ」～大壁画に込められた願い

ピカソの「ゲルニカ」は「反戦」「平和への願い」をテーマに、強烈なメッセージ性を持つ。キュビズムの表現は一見難解だが、鑑賞者によってさまざまな見方や感じ方が可能で、多様な解釈が生まれる作品だ。

(1) 授業のねらい

1・2年で培った力を基に、感情と造形表現、社会的背景を含む広い視点から作者の心情と意図を考え、対話を通して作品に新しい価値を見いだす。

(2) 授業の流れ

《第1部》「ゲルニカ」との出会い(1時間)

初発の感想(印象・気づき・疑問・想像)を記し、共有したのち、作者・作品概要・社会的背景などを知る。作者の表現の変遷とキュビズムについて学ぶ。

《第2部》「ゲルニカ」を読み解く(3時間)

人物・動物・他のモチーフを順に読み解き、記録写真との比較を手がかりに意図を考察する。Jamboardで共有し、ワークシートに自他の考えを残す。

《第3部》「ゲルニカ」レポートを書く(2時間)

これまでの対話を基に、最終的な解釈を整理し、作品がもつ意味(価値)をレポートにまとめる。

3学年美術科(鑑賞) 大壁画に込められた願い ～作品から作者の思いや願いを読み解こう～ 3年\_\_組 No. \_\_氏名

①描かれているもの ②描かれているもの ③電気(電灯) ④燃焼から逃げ延びて、心配そうに目を見回している女性のろうそくを手に持ち、手押しの旗から身を振り出している。(旗の模様や旗の柄に手が触れていることから、必死で旗の力を見ようとしているのが分かる。)手に持っているろうそくで、目を照らしている。また、旗が保護されて描かれていることから、女性に力があることが分かる。

⑤平和の象徴 ⑥戦争 ⑦戦争で壊れた兵士 ⑧戦争で壊れた兵士 ⑨戦争で壊れた兵士

《考察》「ゲルニカ」とは 空爆や戦争で、多くの悲劇を生み出したことを繰り返してはならないというピカソの思いが込められている作品である。そして、空爆や戦争の恐ろしさや人々の絶望する気持ちとは別に、多くの悲劇が生じた中で垣間見えた、人々のつながりの深さや、どんなことが起きても、何度でも立ち上がるという心の強さ、自分は助からなかったとしても、これだけは、と守り通し、次へと繋げようとする思いの強さ、希望が少ししかなくても、前を向こうとする精神の強さなど、自分の身に大きな危険が迫ったときに跳躍される、人の「強さ」をピカソの独特な絵のタッチで力強く、美しく描いている作品である。また、ピカソが、自分の描いた絵を通して、戦争について、普段は、表面的な悪いところしか見ようとしないう私達に、絵を見ることで、様々な立場から考えるきっかけとなるように創った作品である。

図7 最終的な解釈を整理する「ゲルニカ」レポート

### (3) ワークシートの記入状況と質的变化

生徒D:「ゲルニカ」レポート(抄)

#### 〈電球=目〉と〈ランプ〉“二つの光”の対比

- 電球(=目)は鋭い放射状の線で機械的で冷たい“監視の光”。一方、女性が掲げるランプは人の手による“探す光”。人物が顔を向け合い戦争の悲惨な光景を照らした。同じ「照らす」でも意味が反対で、電球は空襲や権力の無機質さ、ランプは真実や希望を探す意思を表している。

ひとつのモチーフを単独で説明するのではなく、対立するモチーフ同士を関係づけて意味を立ち上げている。機能(光)→価値(監視/探求)へと抽象度を上げた言語化ができています。

#### 〈折れた剣と花〉絶望の中に残る“小さな抵抗”

- 倒れた兵士の折れた剣は敗北だが、手元に小さな花が描かれたのは「絶望の中でもあらがう意志が残る」ことを暗示。壁画サイズで拡大された悲嘆の中に、意図的に小さな希望を置いてコントラストを作っている。

“鳩=希望の象徴”のような単純解釈に頼らず、「折れた剣と花」を絶望と小さな抵抗の記号として読み、壁画のスケールと細部の配置から意味の対比を抽出するなど、抽象度の高い言語化が増えた。

## 6 成果と課題

本実践で、生徒の言葉は確実に変化しました。1年生は「時代が平和になるほど神もやさしく描かれている」など作品と時代をつなげて思考する表現、2年生

は「トリミングで視線を誘導する」など造形と因果を結んだ表現、3年生は「監視」「告発」など社会に関わる語へと広がった。対話も、1年生は「～に見える」を根拠で支える段階から、2年生は他者視点で練り直す段階へ、3年生は仮説・反証・合意へ発展した。作者の意図を見る視点が定着し、鑑賞は受け身から、根拠に基づく仮説構築へ転じた。

## 7 考察

変化を支えた要因は三点である。第一に、スパイラル配置により、〈よく見る→演出を読む→社会と結ぶ〉と問いを段階化し、同じ型を反復したことが根拠と言葉の結び付きを強めた。第二に、Jamboardで考えを可視化し、付箋の整理で類似・相違を明確化し、メタ認知が生まれ、対話の質が上がった。第三に、教師は説明役を退き、問い返しと整理に徹し主導権を生徒に渡した。これが“なんとなく鑑賞”からの脱却を促した。

## 8 まとめ

三年間のカリキュラムは、対話型鑑賞を軸に、比較の視点、造形の言語化、他者視点の取り込みによる再解釈を定着させた。ワークシートには「ナゾトキの面白さ」など学びの喜びも記録された。以上より、本モデルは「根拠にもとづき自ら意味を組み立てる鑑賞」を学校美術に実装するための有効な方法である。今後も多様な学び手に開かれた実践へ発展させたい。

#### <参考文献>

- 広島県立教育センター『対話型鑑賞の学習指導に関する研究』(2014)
- Project Zero「思考のルーティン・ツールボックス」
- 泉谷 淑夫(2012)「ロックウェル絵画の読み解き方」『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』150: 57-70

## 石井教諭ヘインタビュー

### 1. 受賞されたご感想や今回の研究で得たものについて教えてください。

このたびは最優秀賞という大変光栄な賞をいただき、心から嬉しく思っています。これまで迷いながら試行錯誤を重ねてきた実践を評価していただき、「これでよいのだ」と背中を押していただいたような思いがしました。今回の研究では、自分の中に漠然と存在していた授業づくりの考えを言語化し、整理することができました。また、日々の授業の中で生徒が見せてくれた思考の深まりや成長の姿を改めて見つめ直し、その意味を検証する機会にもなりました。振り返ってみると、私の授業は常に生徒との対話の中で形づくられてきたものです。今回の受賞は決して自分一人の成果ではなく、授業の中で生徒たちが見せてくれた多様な考えや学びの積み重ねの結果であると受け止めています。

### 2. カリキュラムを進める上での課題や、苦労した点を教えてください。

美術科の教員は、多くの学校で一人配置であることが多く、日常的に授業について相談できる相手が校内にいない場合も少なくありません。私自身も新任の頃からそのような環境の中で手探りの実践を続けてきました。多くの先行実践から学ばせていただきながらも、最終的には「今求められている力を育てる授業になっているか」という問いを自分に投げかけながら題材を選び、授業を組み立ててきました。その結果、やや独自色の強い実践になった面もあるかもしれません。しかし一つの題材には強い思い入れがあります。ワークシートや発問も前年を踏襲するのではなく、毎年少しずつ見直しながら更新してきました。題材は私にとって、生徒とともに成長してきた存在のように感じています。

### 3. 研究活動の中で特に印象に残っていることがあれば教えてください。

長く同じ題材を扱っていると、生徒の反応がある程度予測できるようになります。しかし時折、その予想を大きく超える発想に出会うことがあります。昨年、1年生の授業で宗達・光琳・抱一の三者による「風神雷神図屏風」を比較鑑賞した際のことです。抱一の風神の角が一本に見える理由について、ある生徒がこう発言しました。「角

が折れたのではなく、顔の向きが変わったのではないのでしょうか。二神が互いを見るようになり、小さい角が大きい角の後ろに隠れて見えなくなったのだと思います。」作品を平面的な絵ではなく立体的な存在として捉え、身体の動きと結び付けて解釈した発言でした。その瞬間、教室は一瞬静まり返り、次の瞬間大きな拍手が起こりました。生徒の新しい視点が教室全体の学びを深める瞬間でした。授業とは教師が教える場であると同時に、生徒から学ぶ場でもあるのだと改めて感じました。

### 4. 鑑賞素材の選定やワークシートの準備、指導方法などで意識したことや工夫した点はありますか。

これまでの授業では、生徒が生み出した貴重な考えを十分に共有しきれない場面があることを課題に感じていました。そこで今回の実践では、生徒一人ひとりの思考を授業の中に「見える形」で提示することを意識しました。ICTを思考過程に取り入れることで、生徒の考えを可視化し、瞬時に共有できるようになりました。同一画面上で互いの意見を見比べながら、違いだけでなく共通点を見つけたり、似た考えを整理したりする思考が生まれ、考察はより深まっていきました。ワークシートは思考を整理するための補助として用い、「友達の考えを取り入れて自分の考えにしてよい」と伝えています。授業の終わりに、自分が納得できる考えが残っていればよいと考えています。

### 5. 研究・実践の発展を期待したいと思いますが、今後の展望などありましたらお聞かせください。

今回の研究では、鑑賞領域における三年間のスパイラル型カリキュラムを中心にまとめました。しかし美術にはもう一つ、表現領域があります。これまで私は「石のクローンを作る」「流木アート」「枯山水の世界」など、自然や自然素材を扱う題材を大切に育ててきました。自然の造形の奥深さや不思議さに目を向け、その複雑さや美しさを感じ取る中で、自然への畏敬の念を育てていきたいと考えています。鑑賞と表現の両面から三年間のカリキュラムをさらに深め、生徒が自然と向き合うまなざしを育てていきたいと思っています。まもなく還暦を迎えますが、生徒の新しい視点に出会うたびに、この仕事の面白さを改めて感じています。これからも生徒とともに、授業を育て続けていきたいと思っています。

# 病弱学級のオンラインによる『繋がり』から学び合う学校生活

— 病弱学級でのICTを活用した取り組みを通して —

兵庫県明石市立大久保北中学校 教諭 中安 静香

## I 現状と課題

近年、公立中学校における市内の特別支援学級は増加傾向にあり、支援が必要な生徒への理解が学校現場でも徐々に浸透している。だが、障害の種別ごとに分類すると、病弱学級は、数が少なく、そこに在籍している生徒の病状や症状のレベルは多種多様であり、医学的な知識や理解も時には必要となる。そのため、学級担任や学校組織は、生徒の現状をしっかりと把握した上で、必要な支援をしなければならない。

しかし、病弱学級を開設、受け持つ機会は数少なく、初めて病弱学級を開設する学校や担任を受け持つ教師は、施設整備や授業形態、生徒同士の交流方法など様々な点で疑問を抱く。他校の取り組みを視察しても生徒の病状によって必要となる支援が異なるため、すべてを網羅できるわけではない。

また、通常校でのオンラインによる授業や学校生活を送っている事例は少なく、教師側の準備や負担だけでなく、生徒側の協力や準備等も必要となる。

そのため、本研究では、病弱学級では必要不可欠なICT活用の活動をまとめ、今後の病弱学級の開設・運営の参考、またICT活用の発展になればと思い、取り組みを報告する。

## II 具体的なICTの活用

### (1) オンライン授業をおこなう背景

本校の病弱学級は、2022年度から2024年度の3年間開設された。在籍生徒は1人のため、個人が特定されないよう詳細はふせさせてもらうが、感染症や発作によって命を落としかねない症状があった。そのため、集団での活動では、感染リスクが高く、教室に入ってみんなで授業を受けることは困難であった。

また、毎日通学し、一日すべてを通して学校生活を送ることも体調や体力的な面で厳しいため、生徒の学習保障を確保する支援が必要であった。このような状況や医師からの病状説明等を受け、オンラインでの双方向型授業とオンデマンド型授業を取り入れた学校生活を送る経緯に至った。

### (2) オンライン授業に使用したICT機器やアプリ等

オンラインでの授業をおこなうにあたり、教室と生徒の自宅をつなぐために、教師用タブレットと生徒の自宅パソコンにZoomとGoogle Meetのアプリを活用した。基本的には、Zoomを活用していたが、電波状況やアプリの更新などオンラインならではの不具合が生じることが度々あったので、常時2つのアプリを使えるようにした。市教委から配布される教師用・生徒用タブレットは、取り込めるアプリが市によって異なるため、規制や使いやすさ、それぞれのアプリのメリット・デメリットを理解して取り入れてもらいたい。

また、明石市では授業用アプリとして、ロイロノート・スクールを活用している。ロイロノート・スクールでは、出欠や健康調査、授業に必要な資料やプリントの配布や提出、グループでの意見交換や協働作業、生徒が動画や資料の作成ができるなど学習に必要な要素を取り入れたアプリとなっている。

他にも、オンライン授業で必要となる機器には、マイク&スピーカーがある。教室内の音声を拾いやすくなるだけでなく、生徒が発表する声が教室にも届けることができた。さらに、体育館や教室外だけでなく校外での行事等でネットワークが接続されていない場所での活動では、モバイルルーターが必須となる。明石市では、市教委に申請を出すと貸出をしてもらえるので、行事の度に貸出をしていただいた。

### (3) オンライン授業の様子

#### 《病弱学級での授業》

病弱学級では、学級担任と生徒でオンラインを繋ぎ、マンツーマン授業となった。支援学級に設けられている自立活動の時間では、生徒が将来の生き方や、心と体のケアや自分の病気への理解を深めるために、画面越しではあるがコミュニケーションを多くとり、未来に向けてどのような学習が必要なのか、今、目の前の困難を解決するためにどのような学習が必要かを見極め、生徒の課題解決に向けて授業を計画した。

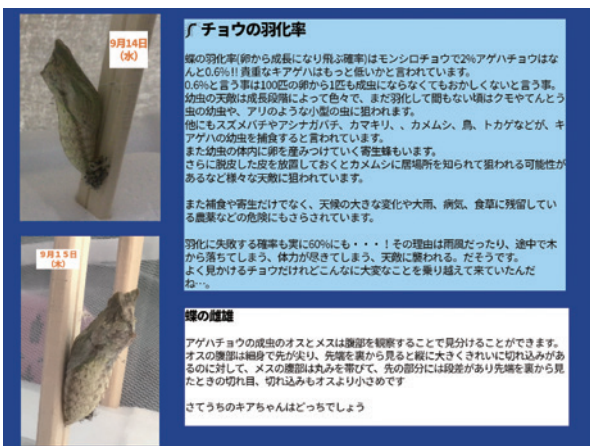
例えば、交流学級での家庭科の授業でユニバーサルデザインの学習をし、その応用として、実際に自分の体に合ったスカートデザイン・採寸・裁断・縫製をおこなった。



生徒のデザイン画

完成した巻きスカート

オンラインを通して、実習の様子を確認し、指示することは可能ではあるが、作品の細部の確認が画面上では難しく、また、ミシン操作や力加減などの技能部分に関わる感覚的なところを伝えるには、非常に



アゲハチョウの成長記録

難しい場面が見られた。採寸など生徒一人ではできない場面では、保護者の手助けが必要となった。

他にも、調べ学習や作業の時間では、ロイロノート・スクールの機能を活用し、調査・レポート作成・プレゼン発表の準備をおこなった。発表当日に体調や機器の不備が生じても対応できるように、動画で発表内容を録画しておいた。

#### 《交流学級での授業》

交流学級での授業では、教卓の近くにオンライン用のタブレットを配置し、教科担当が生徒の表情や発言を把握しやすいようにした。また、前方に置くことで、生徒が板書を写しやすいように配慮した。他にも、光の反射加減や音の入り具合を確認し、授業の妨げにならないよう配慮した。授業中のオンラインに関わるトラブルが生じた場合は、Zoomのチャット機能を使用し、他の生徒の妨げにならないようにした。生徒が授業を滞りなく受けるために、教科担当には、授業で使用するプリントを事前に準備してもらい、オンラインでも同時に学習できるようにした。万が一、プリントの準備が間に合わなかった際は、プリントの画像をロイロノート・スクールで送り、タブレット上でプリントに記入してもらった。また、オンラインの授業での課題の一つに、電波状況の悪さがある。これに対応するために、病弱学級の担任が教室後方からロイロノート・スクールで授業を録画し、生徒に送ることで、授業が途中で止まっても見直すことができた。また、体調不良で授業を受けられなかった時もオンデマンド型授業として授業を受けることができ、生徒の学習を保障することができた。

授業後の休み時間では、次の授業の妨げにならない程度にオンラインを繋げたままにし、教科担当



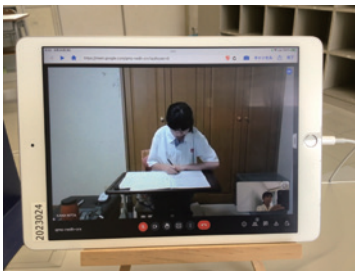
休み時間の様子

の教師への質問や課題や配布プリントの確認をおこなうなど、少しでも他の教師とのコミュニケーションを増やし、教師との関わる時間を増やした。もちろん、交流学級のクラスメイトとの関わりも自然と増えるように、病弱学級の担任がクラスメイトへの声かけや仕掛けを工夫した。

#### 《小テスト・考査》

交流学級で授業を受けている教科の中には、授業内に小テストがある。小テストの際は、病弱学級の担任がオンラインでテストを受けている生徒の様子を確認し、テストが終了したら、生徒は回答した小テストを撮影し、担任に送る。その後、担任が採点したものを教科担当に渡すという方法で対応した。

学期末考査に関しても同じように行い、テスト問題と解答用紙は厳封して、テスト当日の朝に渡し、オンライン上でテスト開始の合図とともに開封させ、終了後は、記入済みの回答用紙を写真に撮り、ロイロノート・スクールに送信させるようにした。この方法では、不正行動を完全に防ぐことはできないが、生徒の信頼をもとに小テストも考査もおこなった。生徒にとっては、オンラインでも授業とは違う緊張感を持って、受験することができた。



考査の様子

### (4) 学びの様子

#### 《協働学習》

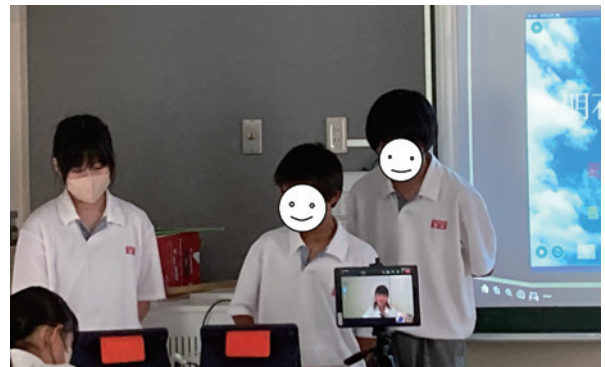
オンライン授業でも協働学習をおこなうことができる。グループで話し合う活動では、他の班の声が雑音になり聞き取りにくい場面もあったが、班員の生徒がマイクを持って話しかけることで解決された。資料の共有などは、班員の生徒がオンラインのカメラに向

かって資料を提示したり、逆に画面上に写したり、ロイロノート・スクールで相互に送り合って共有した。

また、グループでの発表でも、スライド資料の担当部分を家で練習しておき、本番もスムーズに発表をすることができた。



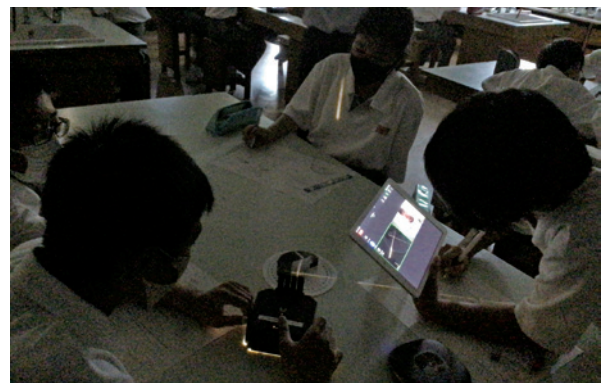
協働学習の様子



グループ発表の様子

#### 《実験・実習》

理科の実験や実習でも班員の生徒が実況をしながら実験をおこなう場面が見られた。普段から当たり前のようにオンラインを繋げ、一緒にグループ学習をしていると、交流学級の生徒たちも自然とカメラの



光の実験の様子

映り方やプリントの進み具合などのやり取りを当たり前のようにおこない、一緒に活動することができた。

### 《課題・研究発表》

授業の課題や人権作文の発表などの代表者に選ばれた時は、クラス全体に向けて発表するため、教室に設置されているスクリーンにオンラインの画面を投影し、教室と生徒を繋げた。スクリーンに生徒が映っているので、スライド等の資料は各生徒たちのタブレットに配信をおこない情報を共有した。



教室発表の様子

### (5) 生徒交流

#### 《体育大会》

体育大会のマスゲームの練習では、集団から離れたところで、自分のできる範囲でのダンスや太鼓での参加をした。体調面を考慮すると外での活動やダンスは

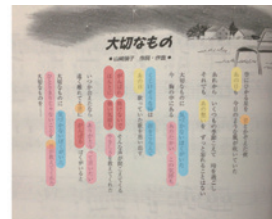
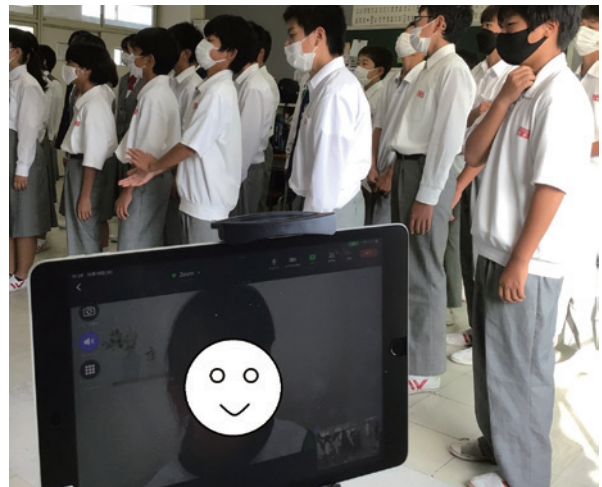


体育大会の様子

体に負担をかけるが、生徒のできる範囲で一生懸命に参加する姿が、周りの生徒にも良い影響を与えた。

#### 《文化祭》

文化祭はクラス合唱をおこなうが、合唱練習や本番は飛沫感染のリスクが高く参加することはできなかった。しかし、オンラインでクラス合唱を聞いた感想やアドバイスを伝えたり、歌詞の意味を調べてクラスで共有したりと交流学級の一員としての役割を果たした。



◎ 曲は曲名からピアノの前奏に始まり、曲の開始は、僅かの間に、浮かす音 ♪ を見受けながら、あの白と黒のような音が吹く中、「君」と一緒に数えた言葉を思い出している所から始まります。

ピアノの前奏で、この言葉を思い出さなければならぬ。優しく、落ち着いた歌の調になるように目を閉じて心を込めます。

冒がわかれるころまでは、みんなで優しく歌う事ができたらと思います。

あれからどれくらい経ったかは、ここには書かれていませんが、何年も経つが過ぎて、嬉しいこと・悲しいこと、色々あったけれど、今でも「君」との思い出たっぷり、あの時の言葉をずっと覚えていてるよ。

と、僕は言っています。

歌詞にある「あの想い」は、感謝や尊敬、友情や愛情のかもしれないけれど、それを「あなたがいこの気持ち」とも言っています。

今は気づくことができたけれど、その時は大切なものに気づきませんでした。・・・、という思いのこぼれ言葉も込めています。

◎ この曲の中では何度も、「君」が出てきます。「君」はみんなにとっての大切な人をイメージできれば良いと思います。

オレンジ色や黄色の線を引いているところは「君」だったり「あの日」や「あの想い」という、「大切なもの」でもあります。あなたがこの曲の中で大切な言葉を、優しく大切に歌わなくてはなりません。

水色の線を引いているところは後援や、つらそうな部分です。少し静かにしそらに歌えるように思います。

ピンクの部分は、あなたに、優しく歌いたいところ。赤い部分は少し強くはっきりと歌いたいところ。として線を引いて色分けしてみました。

こうすると大切に歌いたい所や、優しく伝わるように歌いたいところが、私どもでもよくわかりました。

◎ 2番では、思い強くだけそうな時にこそ、あの日の事や、自分にかけてくれた言葉を思い出しているよ、と書かれています。

どんな時も、「がんばれ、負けないで！」と、強い気持ちで唱えて、いつも自分の背中を押してくれた、そんな励ましの声が、如実、勇声パートで、届けたい思いが伝わってこなくなる部分です。心を込めて、思い出したい所です。

誰にもしなかったら、その感謝を、ありがとうを、伝えたい...ここがこの曲の1番の聴かせどころです。

そして「君」がいてくれたから、「君」が歌まわってくれたら僕は、頑張れるんだよ。

そんなたくさんのありがたさの気持ちや、その時に伝えることのできたこの気持ちを、もしも伝えたら良かったなと言っています。

一人一人の「大切なもの」を、この曲に重ねて歌うことができれば、きっと思いのこぼれ言葉になるのではないかと思います。

クラス練習の様子と歌詞のアドバイス

#### 《トライやる・ウィーク》

2年生のトライやる・ウィークでは、出身小学校で職場体験をおこなった。小学生と直接かかわっての活動はできなかったが、製作物や小学生に向けたプレゼンの製作を同じグループメンバーとおこなった。同じ学年の他クラスのメンバーであっても、最初にオン

ラインの繋ぎ方を指導し、困ったことがあれば教師に相談できる環境を整えていれば、生徒同士で活動に取り組むことができた。



打ち合わせ時の様子

### 《校外学習》

1年生では神戸、2年生では大阪の班別学習をオンラインで参加した。校外での学習では、モバイルルーターを繋ぎオンラインでの参加を可能とした。校外での学習のため、音声がかえりにくい場面や画面が揺れたり、光の反射があったりしたが、普段とは違う場面を友達と一緒に過ごせることは貴重な機会であった。お土産タイムなど中学生同士の会話を楽しむことができた。また、班員が道に迷ったときは、生徒が自宅で検索した道を伝え、目的地までナビゲーションし、教師が思いもつかない形で協力し合う場面が見られた。



班別学習の様子

### 《修学旅行》

3年生の修学旅行の行先は沖縄で、連日オンラインでの参加は困難であったため、参加するポイントを決めてオンラインを繋げた。1つ目は、ホテルでの沖縄民謡の鑑賞である。教師の下見の段階で、オンラインの承諾を得ておき、当日は、会場の盛り上がりや沖縄の文化を見ることができた。2つ目は、お土産購入の班

別行動から空港への集合である。生徒たちの時間の余裕が出てくる時にオンラインを繋げるようにした。



沖縄民謡の鑑賞の様子

### 《支援学級》

本校の特別支援学級の病弱学級、知的学級、自閉・情緒学級に在籍する全学年の生徒が集まると10人以上となり、交流学級とはまた違う活動と学びになる。

例えば、作業や自立活動の時間には畑で栽培した野菜を収穫・販売、散歩に出かけて気持ちのリフレッシュや公共のルール学習、先輩や後輩への接し方など日常生活に重きを置いた学習となる。病弱学級の生徒が畑作業に参加することは難しかったため、他の支援学級の生徒達が栽培した野菜を使ってレシピを作成し、交流するきっかけを作った。

また、オンラインの授業だけでは、どうしても人との関わる機会や社会のルールを学ぶ機会が減るため、感染対策を厳重におこなった上で可能な範囲で参加し、人や社会と関わる機会を設けた。



散歩の様子

## Ⅲ 成果と課題

オンラインによって、生徒の体調を考慮しながら、学習や生徒同士の繋がりをつくれた。その背景には、

生徒本人の学校に行きたいという強い思いと努力、幼小時代から培ってきた人間関係、新しい人間関係を築きたいという思いがあったからこそ成し遂げられた。

このことより、病弱学級の生徒と交流学級や支援学級の生徒との支え合える人間関係を構築することが、オンラインを活用した学校生活において大前提となる。そして、教師が生徒の人間関係の基盤をつくることで生徒の『繋がり』となる。

ただ、課題点も多くみられる。①オンライン授業のカメラ操作の面では、授業が進むごとに板書を見やすくする工夫、光や発表の声の大きさの調整、実習作業の進捗度合いの確認、協働学習の際の座席移動や生徒同士の資料のやり取りなど細かな配慮が必要となった。②教師のICTに対するスキルの面では、普段からICTを頻繁に使わない教員には、苦手意識が高く、操作に戸惑い授業全体が止まってしまうことがあった。③電波・施設・機器等の整備面では、教師側だけでなく生徒側の対応力も必要となってくる。急に電波状況が悪くなり、画面が止まることや接続できなくなることがあるため、自分で臨機応変に対応し、解決する力が必要となる。他にも、それぞれのアプリの特性によって制限されることがある。例えば、Google Meetでは、時間を無制限に使えるが、画面を拡大することができず、板書が見えにくい。逆に、Zoomでは、時間制限があるが、画面の拡大や音声をクリアにする機能がついている。無制限にするためには、教育用でも有料登録しなければならず費用をどこが出すのかという問題が発生した。さらに、本校は生徒数が多いため、学年全員や全校で一斉にタブレットを使用すると接続できない場面が見られた。④病弱学級の生徒が感じている他との違いから生じる孤立感や病気による制約の面では、他の生徒の活動を見ているだけの状況や活動したくてもしてはいけないという葛藤を抱いていた。

①②の課題に対しては、今回在籍している生徒が一人だったため、病弱学級の担任が授業に参加し、細かな支援や授業者へのサポートができたが、病弱学級に複数人、また、学年が違う生徒がいる場合は、

一人で対応ができないため、対処法を考えなければならない。②に対しては、職員研修や会議を通して、ICTの活用力の育成、情報共有する必要がある。③に関しては、学校だけではなく、教育委員会の協力を仰ぎ、情報教育担当や特別支援教育担当に学校現場の現状を伝え、今後の情報教育と特別支援教育の改革を依頼し続ける必要がある。④への対応は、病弱学級の担任が保護者とも連携し、生徒の心身の状況を受け止め、心情に寄り添った声かけや支援をおこなうことで、生徒の精神的な成長を共に歩いていくことだと考える。

#### IV 終わりに

教育は、「生きる力」を学び、養うことである。支援が必要な生徒も生きる術を学ぶ機会が必要であり、人と人が協力し支え合うことで、成長することができる。

オンラインはあくまでもツールではあるが、教師がそのツールをどう活かし、生徒を繋げていくかが重要である。自宅と教室を繋ぎ、教室という集団の中にその子の居場所をつくるのが教師に求められる。また、生徒本人の「学校生活を送りたい」という強い思いを尊重し、くじけそうになった時や葛藤を抱いている時にどのように励まし、支えるかが重要である。また、病気や障害があるからではなく、一人の人として関わり合うことが、同じ学び舎で過ごす生徒達全員の成長へと繋がり、学びとなる。そして、その関係が続くことで病弱学級の生徒にとって卒業後の生きやすさにも関わってくると考える。

学級担任だけではできることは限られているが、学校組織、教育委員会などの多くの協力を得ることで支援の幅は変わってくる。支援の必要な生徒を中心に、それぞれの立場の大人が、自分の立場でできることを全うし、役割を果たすことで、さらに強い繋がりとなり、生徒の生きる力を育むことができる。

この報告をきっかけに、病気によって学校に行きたくても行けない生徒が、1人でも多く学校生活を送れることを願いたい。

## 中安教諭ヘインタビュー

**1. 受賞されたご感想や今回の研究で得たものについて教えてください。**

今回、このような賞をいただけたことを大変、嬉しく思います。また、病弱学級の取り組みを多くの人に伝えられる機会となったことに感謝申し上げます。病弱学級を受け持ったことで、「教育」とは、「学校で学ぶ」とは、「命や生きる」とは、ということと真剣に向き合い、教育の本質を改めて考えることができました。初めてのことで、分からないことも多く悩むこともありましたが、この生徒とご家族に出会えたことは、私にとってかけがえのない存在となり、貴重な経験となりました。そして、私1人では微力ですが、各関係者と繋がることで、生徒にとって学びのある学校生活を創れたと思います。特に、学年団や支援級、管理職の先生方の理解あるご協力、オンライン環境作りに尽力していただいた明石市教育委員会の方々には、心からの感謝を伝えたいです。

**2. オンラインを活用した学校生活において「支え合える人間関係を構築すること」が大前提となる中で、生徒の『繋がり』をつくるために意識したことや工夫した点はありますか。**

オンラインでも、生徒同士のコミュニケーションを取り入れるように意識しました。具体例として、休み時間での友達とのたわいもない会話や授業中の意見交流で、意見の発信や他の生徒の意見を聞く機会を持つ時間を大切にしました。また、交流学級の生徒には、移動教室の際に、オンラインで使用する機器の運搬や各授業での連絡事項の伝達などの役割をつくり、クラスメイトの学校生活を自分達が支えていると意識付けしました。逆に、病弱学級の生徒には、得意の絵や工作、作文や音楽などで学級旗制作や文化発表会の合唱のアドバイスのなどこの生徒にしかできないことで、クラスを支えてもらいました。場所は違うが、あくまでも一緒に学校生活を送っている仲間であることを生徒達に伝え、さらに、それぞれの生徒の様子や頑張っていることを口頭や通信で伝え、働きかけました。そして、何よりも強い繋がりとなったことは、頻度は少ないが学校へ登校し、実際に友達との活動を通して、笑い合える時間を共有したことだと思います。

**3. 研究活動の中で特に印象に残っていることがあれば教えてください。**

印象に残っていることは、生徒の努力です。オンラインで授業を受けること自体は、機器が繋がれば簡単にでき

ますが、オンライン上のトラブルは意外と多く、臨機応変な対応が求められました。それは、生徒側も同じ状況であり、生徒が授業に集中していても、急遽、機器の対応をしなければならない、かつ、授業も途中で中断したため、空白の時間の授業内容を確認しなければならないとマルチに対応する力が必要です。オンラインで見えている表面的な部分だけではなく、家庭での取り組みは、教師が思っている以上に時間や労力を使い、体調が優れない時は特に負担が大きかったと思います。オンラインでの授業には、生徒の陰の努力や学びたい気持ちがあったからこそ成立したと思います。

**4. 研究を通して、先生や生徒にどのような変化がありましたか？**

私は、ICTの活用によって教育活動の広がりを感じました。正直なところ、私は機械音痴です。オンラインの繋げ方やロイロノート・スクールの活用方法すら分からず、機械の得意な先生方に何度も教えてもらい、なんとか授業に支障が出ない程度に使い方をマスターしました。そんなスタートでしたが、毎日、毎時間、ICTを使用することで、便利さや活用方法の多様性、授業形態の工夫を創造できるおもしろさに気づけました。生徒にとっては、人との繋がる機会の増加や学習保障により、学校でしかできない学びを得られたことだと思います。実際に登校し、感染症や発作の危険を感じながらの学校生活は、非常にストレスとなりますが、ICTを使うことでこういった状態を避けて学べることは、生徒にとって、「学校が楽しい」と思える1つの要素になったと思います。

**5. 病弱学級におけるICTの活用について、試行錯誤を重ねている先生方が全国にいらっしゃると思いますが、メッセージをお願いします。**

病弱学級は、生徒の病気の種類や度合いも異なるため、参考にはできても、誰かの真似だけではうまくいかず、生徒理解に努める必要があります。しかし、担任一人で、全てを網羅することは難しく、「分からない」や「困った」があるからこそ、先生自身が他の人と繋がり、協力を得てください。そうすれば、状況は改善されていきます。ICTは、使い方が分かれば、便利な道具へと変わり、一人ひとりに合った教育活動を創れます。教師は、残念ながら病気を治すことはできませんが、生徒の想いを聞き、生徒が「学校が楽しかったな」と思える環境や思い出を創ることはできます。先生方の想いや努力は、必ず、生徒や周囲の人に伝わることを願っております。



# 【心に残る



## 寄り添いながら育つ力 ～地域とつながる学びの現場から～

福永 敦史

三重県立四日市農芸高等学校 教諭

農業高校で生徒たちと向き合う中で、共に歩むことの大切さを感じる場面が多くあった。地域の課題に挑む生徒たちの姿は、私の心に深く残っている。

前任校で未利用資源を養豚飼料として活用する研究に取り組んだ。水分の多い原料を長期保存するため、密閉して発酵させるサイレージ化に挑戦した。当初は失敗が続き、袋を開けた瞬間に広がる匂いに、生徒が「今日もダメでした…」と肩を落とす日もあった。それでも試行錯誤を重ね、ついに良質な発酵を示すサイレージができ、実習室に小さな歓声が上がった。この取組はやがて地域の養豚農家で実用化され、地域ブランドとして形になった。生徒たちにとって、自分たちの手でつかんだ確かな一歩だった。

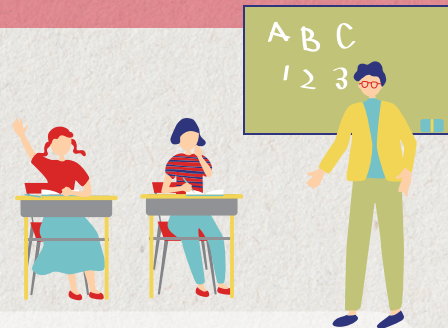
現任校でも、放置竹林の間伐材を養鶏飼料にする研究を始めた。粉碎方法や配合を工夫し、鶏の様子を見ながら試験を重ねた。生徒たちは「食べてくれるかな…」と不安そうにしていたが、鶏がついばみ始めたとき、顔を見合わせて笑った。その穏やかな笑顔が、今でも心に残っている。

研究内容をまとめ、農業クラブ全国大会プロジェクト発表会に出場した。緊張で手が震える中、自分たちの言葉で活動を伝え、優秀賞を受賞した。受賞が決まった瞬間、生徒の一人が「先生、やりましたね」と涙をこらえながら言った。互いの

肩を抱き合う姿は、積み重ねてきた時間をかみしめるようだった。大会後、生徒が「自分たちでも地域の役に立てるんですね」と言った。その言葉を聞いたとき、私はこの活動の本当の価値を感じた。研究成果そのものよりも、自分の力を信じられるようになったことが、何より大切なのだと思った。

そして今、生徒たちはそれぞれの未来へ向かっている。農業高校の教員を目指す者、研究者を志す者、地域の農畜産業へ就農する者。ある生徒は卒業前に「いつか自分も農業高校の先生になって、今度は教える側に立ちたいです」と話してくれた。その言葉を聞いたとき、生徒たちが歩んできた道が、次の世代へとつながっていくのを感じた。私はよく「何事も生徒にさせないと意味がない」という言葉を耳にする。しかし、私は少し違う考えを持っている。生徒が主体的に取り組むことは大切だが、その道のそばには、いつでも共に走る教員の姿があるべきだと思う。最初は教員が少し前を走ってもいい。そのうち並走となり、最後には生徒たちが自分たちで前を走っていく。生徒と教員は車の両輪であり、どちらか片方だけが回っても、まっすぐ前には進まない。これからも私は、生徒たちと共に学び、成長し、地域を照らす光となる若者を一人でも多く送り出したいと思う。

# 子どもたち



## 「おにぎりの精神」で

嬉野 雅也

佐賀県唐津市立第五中学校 校長



数年前、私を管理職の道へ導いてくださったある校長先生から、おにぎりの差し入れをいただいたことがあります。教育事務所の指導主事として学校支援に入った際にも、給食とは別に大きなおにぎりを握っていただきました。そのとき「なぜ私におにぎりを？」という疑問が浮かびましたが、校長先生が折に触れて管理職としての心構えを語ってくださったことを思い返すと、そのおにぎりにも深いメッセージが込められていたのだと感ずるようになりました。

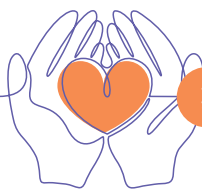
おにぎりを学校経営に例えて考えてみると、強く握りすぎれば米粒が潰れ、型にはめれば角が立つ。逆に弱すぎれば形にならず崩れてしまう。具を中心に、ちょうどよい塩梅で握ることが大切です。学校も同じで、教職員や生徒を大切にしながら、学校目標という“具”を中心に適度な力加減でまとめていくことが求められるのだと教わった気がしました。

現在勤務している唐津市立第五中学校は、私が6年前まで教諭として勤めていた思い出深い学校です。当時から明るく元気な生徒が多い一方で、大人不信や教師不信を抱える生徒も見られました。しかし今の第五中には、そうした影はほとんどありません。幼く落ち着きのないところはあるものの、毎日楽しそうに学校生活を送り、行事には主体的かつ全力で取り組んでいます。これは歴代の

先生方が、生徒一人ひとりを主役として認め、判断の場を与え、褒めながら支えてきた積み重ねの成果だと感じます。生徒たちは学校を好きになり、「第五中の生徒であること」への誇りを手に入れたのです。

その象徴が文化発表会でした。午前の演目終了後、職員が舞台に集まりサプライズで合唱を披露すると、生徒からアンコールの声。準備はしていなかったため校歌を歌うことにすると、生徒たちは自然と肩を組み、声高らかに歌い上げました。その姿に胸が熱くなり、思わず涙がこぼれました。

本校は昨年度、佐賀県の研究指定を受け「SDGs教育」を進めてきました。今の学校の姿を“持続可能”なものにするためにも、私はこれからも「おにぎりの精神」を大切にしたいと考えています。教職員も生徒も、炊き立ての真っ白なご飯のように純粋さと粘り強さをもってつながり合うこと。そして、教職員と生徒、生徒同士、生徒と家庭・地域が強く結びつくことこそ、主体的で協働的な学びの実現や、いじめ・不登校などの課題解決につながると信じています。これからもその思いを胸に、教育活動を進めていきたいと思えます。



# 職場でできる 簡単ストレッチ



はせがわ たかあき  
長谷川 貴亮

山口県出身。1974年生まれ。東京医科歯科大学（現・東京科学大学）医学部保健衛生学科卒業。在学時に解剖学・生理学を履修、卒業後は同大学病院検査部に所属。

解剖学で修得した筋肉や骨格の構造や仕組みの知識を、舞台俳優・ダンサーとしての活動に活かし、多くのミュージカル作品に出演。科学的根拠を持つインストラクターとして、子どもたちの表現教育指導者としても活躍。ニューヨークシティバレエ団監修のNYCBW (New York City Ballet Workout) インストラクターとしての経験も持つ。

東京大学医学部附属病院加圧トレーニング・虚血循環生理学講座において基礎実験を担当した。



新学期、そして新年度を迎え、新たな環境での生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。新しく出会った生徒達や同僚に向き合う時間が長くなると、無自覚のうちにご自身の体の余計な所にも力が入ってしまいます。その様な筋肉のこわばりや硬直をそのままにせず、適度に体を動かさしほぐしてあげることは、肉体のみならず心の安定やリフレッシュにも有用です。

このコーナーでは「職場でできる簡単ストレッチ」と題し、皆様の多忙な業務の隙間で実施可能なストレッチを紹介させていただいており、今号で第3回目となります。初回は首・肩回り、前回は主に背中中のストレッチを紹介させていただきました。

今回は、胸と腕、そして腹部のストレッチをご紹介します。

このストレッチに見覚えのある方もいらっしゃるかと思います。初回の肩回りのストレッチ2で紹介した種目です。

前号でも触れましたが、1つの動きにおいて複数の筋肉が連動して働いています。この種目では伸ばした腕側の①肩回りの筋肉、②肩甲骨周り、③胸、④腕の筋肉のストレッチに効果があります。今どの筋肉に焦点を当てているのかをしっかりと意識して、ストレッチを行いましょう。5秒間/回を3回程度繰り返し、左右同じ回数を行います。

## 胸・腕のストレッチ

**1:** 立位で、壁や本棚等手のひらをしっかり当てても大丈夫な場所で行います。座位でも行うことができます。



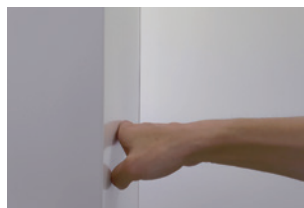
**1a:** 右手を真横に伸ばし、手のひらと指先を後方に向けて壁に当てます。そのまま息を吐きながら5秒間かけてゆっくりと上体を左側へ向けてみましょう。



**1b:** 同じ動きを、前腕（肘から先の部分）を垂直にし、肘から先の全体を壁に付けた状態で行うと、少し強度が上がります。同様に、ゆっくりと息を吐きながら行いましょう。



**1c:** 1aでは手のひらを壁に当てて行いました。この時、手のひらを下に向けて人差し指の横面を壁につけて行うと、腕の筋肉により効果的です。



**2:** 両腕を体側につけた状態で両肘を直角に曲げ、手のひらを上に向けます。そのまま両肘を後ろに引いてみましょう。この時、前腕は水平を保つようにします。胸がストレッチされて

いることがお分かりいただけると思います。後方に引くときに肩甲骨の動きをしっかり意識すると、同時に背中中の筋肉をほぐすことにも繋がります。ゆっくりと息を吐きながら5秒間かけて両肘を後方に引き、息を吸いながら元に戻します。3回程程度行います。動きに慣れてきたら速く5回程程度行ってみましょう。



**3a:** そのまま両手を斜め下に伸ばし、手のひらを前に向けます。その状態で2と同じように、今度は両手を伸ばしたまま後方へ引きます。同様に胸の筋肉のストレッチになります。



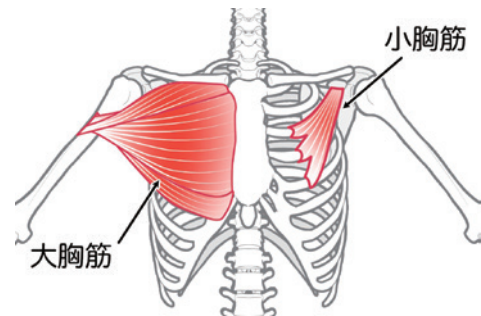
**3b:** aで後方へ引く際に、今度は前腕を外側に回転させながら行ってみましょう。胸の筋肉のストレッチの強度が少し上がると同時に、前腕を外外させることにより腕の筋肉のストレッチにもなっています。



胸の筋肉というといわゆる胸板の筋肉、つまり大胸筋をまずイメージされると思います。胸部表層にある大胸筋はその上部は鎖骨に、下部は胸骨に始まり、肩関節を跨いで、共に上腕骨の上部に停止します。よって肩関節の様々な動き、例えば物を抱えたり持ち運んだりするあらゆる動作において重要な役割を果たしています。

またその深層には小胸筋と呼ばれる筋肉も存在しますが、こちらは肩関節を跨ぎません。小胸筋は胸の前側の肋骨に始まり、背側の肩甲骨の上部に停止する筋肉で、肩甲骨を

下方向に引いたり、息を吸うときに肋骨を引き上げる働きがあります。



12個の椎骨から成る胸椎、そして肋骨と胸骨によって囲まれる提灯の様な空間を胸郭と呼びます。適度なストレッチにより胸部の筋肉をほぐしてあげると胸郭の動きがスムーズになり、その結果肋骨が広がりやすくなり呼吸が楽になります。

学校生活においては様々な場面で深呼吸をする機会があると思います。深呼吸はもちろんですが、ストレッチにより筋肉のこわばりをほぐすことは副交感神経を優位にし、心身のリラクセスに有益です。

日頃深呼吸をする時に、よく両手を横や斜め下に広げる動きをされると思いますが、それを単なる惰性の動きにしまうと、せっかくのストレッチのチャンスを無駄にしてしまいます。

繰り返しになりますが、どの筋肉を伸ばしているのかをしっかりと意識してストレッチをしつつ、深呼吸を行いましょう。

**4:** 立位でも座位でも行うことができます。どちらの場合も、骨盤から背中までしっかり真っすぐにした状態を保つようにします。

左手を頭の後ろに回し、右手で左肘を持ちます。そのまま息を吐きながらゆっくりと右手で左肘を引きます。この時、上半身が前や後ろに倒れてしまわない様にします。前号で言及した下腹部の深層



のキュッと引き締まっていると感じる丹田の辺りを意識しながら骨盤～背中～首を良い姿勢に保ちながら行くと、より効果的です。できれば頭も前に倒さない様に行いたいですが、肩関節の可動域や状態は各々異なり、頭頸部を真っすぐ保ったまま片肘を頭の後ろまで回すことが難しい方もいらっしゃるでしょう。決して無理をせず、ご自身の状態をよく鑑みて適度に行いましょう。

同様に5秒間/回を3回程度、左右で同じ回数を行います。このストレッチは上腕(肩から肘までの部分)の後ろ側の筋肉である上腕三頭筋を主な対象としています。

**5a:**立位でも座位でも可能です。

左手を前方に伸ばし、手のひらを上に向けます。右手で左手の人差し指から小指までを掴んで下に、そして手前に引きながら左手の掌底を奥に押し出す様にします。この時、伸ばしている左手の肘は曲がらない様に注意しましょう。同様に息を吐きながら3回程度、左右同じ回数をゆっくり行いましょう。このストレッチは前腕部の筋肉のうち、手首を曲げたり手指を握ったりする前腕屈筋群を主な対象としています。



**5b:**5aと同様に左手を前方に伸ばしますが、今度は手のひらを下に向けます。右手で左手の甲を保持し、同じく肘が曲がらない様に注意しながら下に、そして手前に引きます。必ず指ではなく手の甲を持って引きましょう。こちらは前腕部の筋肉のうち、手首や手指を伸ばしたりする前腕伸筋群のストレッチになります。



## 腹部のストレッチ

**1:**立位で行います。両足を軽く開き背すじを伸ばして背中を高い位置でキープします。

前号において、骨盤を前傾・後傾させる際に脇腹の下の腸骨のグリグリの部分を両手で保持して行うと説明しました。しっかり腸骨を持ち、骨盤を前傾させながら上体を少



し反らし、顔・胸を上方へ向けてみましょう。体の前面にある大きな筋肉である腹直筋のストレッチになります。大きな呼吸と共に3回程度行いましょう。腰に負担がかかってしまう方は無理をせず、ご自身の状態に合わせて行いましょう。

**2:**この動きに慣れてきたら、前述の胸・腕の3aの動きと組み合わせさせてみましょう。姿勢良く立ち、両手を斜め下に伸ばした状態から、大きく息を吐きながら「骨盤を前傾させる・上体を軽く反らす・両手を後方へ引く」を同時に行います。様々な箇所が同時にストレッチされることにより心地良さを感じていただけるのではないのでしょうか。骨盤を両手の保持なしで前傾させる際、丹田をキュッと引き締める感覚を持ちながら(探求しながら)行くと、より一層実用的ですね。

## 更にもう1歩! アドバイス

初回において、あるストレッチと同じ姿勢・動きで負荷をかけると同部位の筋トレになると言いました。今回の種目でも同様です。

**例1:**胸・腕の4で左肘を引いてストレッチをした後、肘を戻しながら右手で抵抗してみましょう。同部位の簡単なトレーニングになります。この時、対象の筋肉(この場合は上腕三頭筋)を等尺収縮させています。同部位の伸展と収縮を交互に行うと筋肉はよりほぐされます。

**例2:**同じ様に5aの動きで左の手のひらを戻す時に右手で抵抗してみましょう。対象となる前腕屈筋群が収縮され、簡単なトレーニングになります。5b(前腕伸筋群)も同様ですね。

毎日の板書やPCでの作業、種々の道具製作や楽器の演奏、はたまた食事や入浴に至るまで、実は前腕の筋肉は常に酷使されています。ところがそのケアまで意識されている方は多くはありません。スポーツやボディメイク等において頻繁に話題になる“メジャーな”、“大きな”筋肉ももちろんですが、日頃の生活や業務において寡黙に働き我々を支えている一見“マイナーな”、“小さな”筋肉たちにも目を向けて、しっかりストレッチ及びトレーニングをしてあげましょう。



## すべての子どもたちを、 食で笑顔に！

合同会社KAKOI 代表  
かこい まさと  
梶 正人 さん 〈67歳〉



合同会社KAKOI代表の梶正人さん。小中学校で35年間、主に「理科」「数学」を教えた。理科の実験は名物授業に。とにかく子どもが好き。地元の子も食堂で勉強を教えることも

小学校教頭で定年を迎え、その直後に起業した梶さん。米粉パスタを開発・販売する、愛知県内にある合同会社KAKOIだ。「子どもたちが楽しみにしている給食で、アレルギーをもつ子は離れた席や別室で食べることがありました。また、配膳の際は『卵』『乳』『小麦』等、アレルゲンを書いた筒を各机に立てるといふ工夫も。重篤な食物アレルギーをもつ子どもはエピペン(アナフィラキシー補助治療剤)を常に携帯していますから、エピペンをもつ子どものロッカーには目印を貼り、エピペンがランドセルのどこにあるのか、ちゃんと入っているかを毎日担任が確認をしていました。アレルギー食の安全管理には学校をあげて取り組んでいたにもかかわらず、事故が起きたのです。それが起業の原点です」と、代表の梶正人さんは語る。

それは、卵アレルギーの子が、おかわりをしたオタマに微量の卵が付着していたことが原因だった。給食後の休憩時間に、運動場で遊んでいたところ症状があらわれた。すぐに救急車を呼び、エピペンを打ち、軽症でおさまったという。迅速な対応と摂取量が僅かだったことが幸いした。

当時、年に一度、特定原材料等を使用しない「ニコニコ給食の日」が設けられ、アレルギーのある子もない子と一緒に食べられる日があった。そのときの子どもたちの嬉しそうな顔が忘れられないと、現役のときからアレルギー食に強い関心をもっていた梶さん。PTAの保護者とも話す機会が多く、家庭での孤食の心配や食物アレルギーをもつ子どもの食事づくりの負担等、仕事で忙しい保護者の声にも心が動いた。簡単に栄養価が高く、食物アレルギーの子でも安心して食べられるものをつくりたい。主食としてだけでなく、野菜やたんぱく質も一緒に摂れるものは何か。梶さんは試行錯誤の結果、「米粉パスタ」に行き着いた。米粉のパンや麺はあるが、パスタはない。レンジでチンして食べることができれば、子どもでも簡単だ。パスタ麺の太さや厚み、量、ソースの原材料、価格設定等、起業後は初めてのことの

連続だったが、「子どもたちを食で笑顔にしたい」という想いが、多くの人たちの共感を生み、協力者を増やしていった。

そして誕生したのが、グルテンフリーの米粉パスタ『おいで食べ米!』(名古屋弁で、おいで一緒に食べようの意味)だ。様々な料理にも使えるパスタだけの真空パック麺と、ジェノベーゼとボロネーゼのソースが絡み、レンチン3分でOKという冷凍パスタがある。「食品添加物なし」「グルテンフリー」の日本初の米粉パスタは、地元メディアだけでなく海外メディアにも取り上げられ、香港やアラブ首長国連邦からも商談の依頼が入る。パンが主食の欧米の国々では、小麦アレルギーになる人口が多いのだ。

起業して7年。食育推進全国大会への出展や、斑点米(カメムシ等の影響で部分的に黒くなったお米)を活用した食品ロス削減への取り組み、奈良県の大和野菜とのコラボレーションなど、合同会社KAKOIの米粉パスタ事業は注目を集めている。「すべては子どもたちの笑顔のために」。梶さんの夢は、世界の子どもたちを貧困から救うことにも広がっていく。



冷凍米粉パスタ4種。美味しくなければ始まらないと、味にもこだわった。ソースもグルテンフリーだ



試食に参加する子どもたち



会社ホームページ



オンラインショップ



# わたしたちの 学校自慢

専門高校シリーズ vol.20

香川県立坂出商業高等学校 会計ビジネスコース

## 高校生が発信するまちおこし

### 「さかいで♡愛ランドプロジェクト」



本州と四国をつなぐ瀬戸大橋の、四国側玄関口に位置する香川県坂出市。かつて日本一の製塩地として栄えたが、番の州臨海工業団地が造成されてからは、香川県第1位の工業都市として発展してきた。

この坂出市にある県立坂出商業高等学校(通称:坂商)の学年縦断型授業の取り組みが、全国から注目されている。商業科会計ビジネスコースの生徒たちが、2019年から実践する「さかいで♡愛ランドプロジェクト」(坂出愛とIslandをかけたネーミング)である。年々賛同者が増え、自治体や企業、省庁を巻き込み、地域の一大プロジェクトとして成長を続けているのだ。

高校生は、地元企業や地域のことを知らないまま県外へ進学し、卒業後も地元に戻らないケースが多い。「坂出市に戻って活躍してほしい。そのために商業高校でできることがあるのではないかと、校長の関本英統せきもとひでのりさんの賛同を受け、商業科教諭の多田羅元弘ただらもとひろさんが、裏方の仕掛け人として立ち上がったことが発端だった。

生徒たちに地元を知ってもらうことから始めようと、2020年に坂出市観光協会主催の島しょ部まちあるきツアーに参加。瀬戸大橋がかかる3つの島、「櫃石島」ひつしじま「岩黒島」いわくろじま「与島」よしまのうち、櫃石島と岩黒島は、島民以外の自家用車は乗り入れ不可のため、瀬戸大橋上を運行する路線バスでしか立ち寄ることができない。ここに魅

力がある。島の魅力を発信すれば、坂出市の交流人口の増加に結び付けられるのではと仮説を立て、観光ツアーを立案。生徒たちは路線バスで何度も島を訪れ、地元住民の話を聴き、今まで知ることのなかった歴史スポット等を案内してもらった。そして誕生したのが、持続可能な観光「サステナブルツーリズム」である。

ツアー実施のためのマーケティングや原価計算、販売促進のためのフライヤー作成、そしてガイド役を務めるのは生徒たち。このツアーを島の住民だけでなく、地元バス会社の琴参バス(株)、本州四国連絡高速道路(株)、環境省等、立場を超えた大人たちが応援。坂出市の「ふるさと納税返礼品」にも追加された。生徒たちは、学校の学びが地域に繋がっている実感を得ることで、成長を加速。進学先の大学で教職課程を履修し、教師になって母校に戻り、このプロジェクトを牽引したいという卒業生が生まれてきた。そしてまた、このプロジェクトに参加したいと、坂商を目指す中学生が増えるという成果もつくり出しているのだ。

発足から7年。「毎年同じことをしたらあかん!」「現状維持は退化だ!」と、常に新しい風をプロジェクトに吹き込み、商業・経済・情報の流れを学び続ける坂出商業高等学校の教師と生徒たち。裏方に徹する教師たちの熱い下支えが、生徒の成長を進化させる大きな力となっている。



路線バスで3島を巡る生徒たち



ツアーの原価計算をする授業の様子



令和5年(2023年)度 第33回全国産業教育フェア福井大会「全国高校生ビジネスアイデアコンテスト」での授賞式。『サステナブルツーリズムで島を活性化』が最優秀賞を受賞



瀬戸大橋とつながる櫃石島、岩黒島、与島の3島がプロジェクトの舞台



左から校長の関本英統さん(取材当時)と商業科教諭の多田羅元弘さん。「学びの重心は変えないが、時代の流れを敏感につかむことが商業高校には必要だ」と熱く語り、裏方に徹する



学校HP



「Magic of the Dream」は、子どもたちの「夢を叶える力」を育む感動や驚きの体験をプレゼントしています。全国各地の社員がボランティアスタッフとして積極的に関わりながら、子どもたちにエールをおくっています。

《特別協賛》ジブラルタ生命保険株式会社

ジブラルタ生命 Presents ドリーム・スクール・キャラバン

## 走力UP!教室



**開催予定地域**  
新潟県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、長野県、神奈川県、千葉県、山梨県、静岡県、広島県、岡山県、島根県、鳥取県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県

一流スポーツ選手やプロサッカー選手、そして全国の子どもたち80,000名以上を指導してきた実績を持つプロスプリントコーチが“速く走れるコツ”を伝授します。

《主催》ドリーム・スクール・キャラバン実行委員会  
《後援》公益財団法人 日本教育公務員弘済会



ジブラルタ生命 Presents ドリーム・スクール・キャラバン

## バスケットボール教室



**開催予定地域**  
愛知県、石川県、富山県、福井県、岐阜県、三重県、福岡県、鹿児島県、長崎県、熊本県、佐賀県、宮崎県、大分県、沖縄県

現役のプロバスケットボールチームの選手やコーチと一緒に試合をしたり、プロの技術を披露したり、子どもたちにスポーツの楽しさや喜びを伝える授業です。

《主催》ドリーム・スクール・キャラバン実行委員会  
《後援》公益財団法人 日本教育公務員弘済会



ジブラルタ生命 Presents ドリーム・スクール・キャラバン

## ダンス教室



**開催予定地域**  
北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、東京都、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県

プロダンサーの指導でリズムに合わせて身体を動かすことにより、ダンスの得意不得意問わず、みんなで一緒に「ダンスって楽しい!」が体験できる授業です。

《主催》ドリーム・スクール・キャラバン実行委員会  
《後援》公益財団法人 日本教育公務員弘済会

ジブラルタ生命 Presents ドリーム・スクール・キャラバン

## パラフットボール教室



全国の特別支援学校を対象として、障がいのある子どもたちに気軽にスポーツの楽しさを知ってもらえるよう、専門の指導者による出前授業をお届けします。  
※パラフットボールは、障がいのある人が楽しめるように工夫されたサッカーです。

《主催》一般社団法人 パラフットボール  
《後援》公益財団法人 日本教育公務員弘済会

ドリーム・スクール・キャラバンは全国の小学校を対象としております。(特別支援学校および特別支援学級は対象外となります。)

## ジブラルタ生命保険株式会社

本社 / 〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10

ミナキョウイク

通話料無料

【教職員のお客さま】

**0120-37-9419**

受付時間 平日9:00~18:00 / 土曜9:00~17:00(日・祝・年末年始を除く)

本広告の掲載内容に関する問い合わせは、共済事業(提携保険事業)提携会社 ジブラルタ生命保険株式会社 ライフプラン・コンサルタントへご連絡ください。もしくはジブラルタ生命保険株式会社「Magic of the Dream」までメールにてお問い合わせください。

☞ : GIB\_Mail.Dream@gib-life.co.jp


ジブラルタ生命の社会貢献活動スペシャルサイト  
<https://www.gib-life.co.jp/st/about/kouken/>



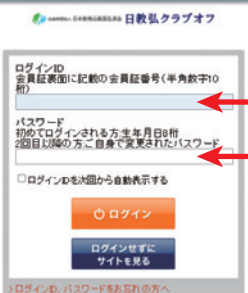
# 国内外20万ヵ所以上のサービスがお得に！ 福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」

**日教弘クラブオフへのログイン方法** ※日教弘会員証がお手元に到着してからご利用いただけます。

## STEP. 1 日教弘クラブオフの専用ホームページへアクセス。

 **スマホでアクセス**   **パソコンでアクセス**  
<https://www.club-off.com/nikkyoko/>

## STEP. 2 ログインIDとパスワードを入力してログイン。




**ログインID**  
 会員証に記載されている「支部コード(2桁)」+「会員番号(8桁)」計10桁の半角数字

**初期パスワード**  
 ご自身の生年月日(半角数字8桁)  
 ※例: 2003年4月15日生まれ → 20030415  
 ※初回ログイン時にパスワードを変更いただけます。

さらにログイン後に

クラブオフアプリをダウンロードして、もっと便利に！



   
   
 iPhoneはこちら Androidはこちら

動画でわかる！  
アプリの使い方



※Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。  
 ※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

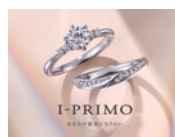
**Topic** 日教弘クラブオフは、結婚を考える方におススメのサービスも充実！  
 結婚に向けて動き出すあなたへ、頼もしいサービスをご紹介します！

### 結婚指輪をお探しの方はこちら！

**アイプリモ**  
 アジア最大級の展開エリアを誇るブライダルリング専門店。

**会員特典** 申込No.0050576  
**エンゲージリング/マリッジリング 10%OFF**

指輪選びで迷われている方はアイプリモのパーソナルハンド診断®  
 チェックがおすすめ！  
 ● 診断の流れや分析方法など詳しくはコラムをご確認ください。



**ラザール ダイヤモンド ブティック**  
 精緻なカットで虹色に輝くラザール ダイヤモンド。

**会員特典** 申込No.7010986  
**エンゲージリング/マリッジリング 10%OFF**

「結婚準備」の  
 コラムはこちら！



### 挙式準備を始めた方はこちら！

**アールイズ・ウエディング**  
 国内・海外のリゾートウェディングをトータルプロデュース。

**会員特典** 申込No.5101856  
**挙式相談完了で  
 クラブギフト 10,000ギフト進呈**



素敵な出会いのサポートも！

**Onet pairs and more**

「お相手探し」のコラム  
 はこちら！



出会い・結婚のお得なサービスは、ほかにもたくさん！

日教弘クラブオフの専用ホームページTOPページの「カテゴリー一覧」→「婚活・マッチングサービス」からご確認ください！

●日教弘クラブオフに関するお問い合わせは

**0800-919-6189** まで。 **通話料無料** 営業時間10:00~18:00(年末年始除く)

※掲載内容は2026年4月現在の情報です。予告なく変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
 ※特典をご利用の際は必ず日教弘クラブオフホームページをご確認ください。  
 ※画像はすべてイメージです。

## 「独立自主」の精神を尊び、自ら学び自ら考える

### 香川県立高松高等学校

高松高等学校は創立134年目となる歴史と伝統のある学校です。これまで数多くの著名人を輩出し、5万6千人を越える卒業生は広く各界で活躍しています。本校に校訓はありませんが、校歌の歌詞にある「独立自主」を尊び、自ら学び自ら考える「学ぶ学校」を理念としています。

生徒は進取向学の精神に富み、自由闊達な校風のもと、高い志を持って日々努力しています。国際平和を願う「人道プログラム」、卒業生も参加する年末の「芸術祭」、台湾との「国際姉妹校交流」、地域の課題に取り組む「総合的な探究の時間」。どの活動も、生徒が主体となって企画・運営をしています。このような教育活動を通じて、高生(たかこうせい)としての自覚が芽生え、ゆくゆくは社会に貢献しようとする精神が養われています。



リトアニア大使を囲み国際平和について話し合った「人道プログラム」



「芸術祭」での第九演奏会は地域の年末恒例行事



台湾の武陵高級中等学校を訪問し、生徒同士でディスカッション



SDGsに関するテーマで地域の課題を考察した探究活動

〒760-0017 香川県高松市番町三丁目1-1 TEL.087-831-7251 FAX.087-831-0010

【アクセス】 ●琴 電：「瓦町駅」から徒歩15分  
●琴電バス：「県庁通り中央公園前」から徒歩5分  
「県庁・日赤前」から徒歩2分

【学校HP】 <http://www.kagawa-edu.jp/takah02/>





## 日教弘マークについて

公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>は、  
都道府県を含む総称を「教弘」としていることから、  
アルファベットの「K」がそのイニシャルです。  
「K」を中心にした楕円形は、日教弘本部・支部が一致協力して事業推進していることを象徴しています。  
全体のイメージは、未来への飛躍を展望したものです。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

